

4・3・2・1年生・大学院生諸君！

明けまして、おめでとうございます。いよいよ今年は、君たちが教員採用選考を受験する年です。関東各都県の1次試験は大体七夕（7月7日）前後だから、2月1日現在の持ち時間は、**約157日**です。この時間を有効に活用することが合格の必須条件です。神奈川県、埼玉県、茨城県など一般教養試験がある道府県では、暗記すべき内容が膨大です。過去問から出題傾向を分析し、無駄のない勉強をしよう！また、東京都など教職教養と専門教養しかない都道府県は、科目が少ない分より深い知識が求められます。「採用前実践的指導力養成講座」「東京教師養成塾」「若手教員育成研修」「東京教師道場」「東京都教育研究員」「東京都教育開発委員」「東京都教員研究生」「大学院派遣研修」「教育行政研修」「次世代リーダー育成道場（中高生）」「東京グローバル・ユース・キャンプ（高校生）」など、東京都独自の研修制度に関する問題が出されています。東京都を受験する人は、東京都教職員研修センターのWebページ

(<http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp/index.html>) で確認してください。

【最近実施した行事とこれから実施する行事】**1 「論文個別添削」**

11月15日の「合格論文書き方講習」を受講した諸君を対象に毎日行っています。

11月15日から2月1日までの添削論文数は延81枚で、4年生の実績189枚を追い越す勢いです。

★ 以下の講習・練習は、参加を希望する日程を用紙に記入し、メール又は来室にて提出してください。

2 「面接試験講習会」★ 面接攻略法に関する講習です。

2月19日（月）13:30～15:00 面接講習A ★会場はいずれも、W001

2月20日（火）13:30～15:00 面接講習B ★AとBは同一内容。いずれか一方を受講する。

3 「個人面接練習」★ 時間は全て、10:00～11:30、13:30～15:00、15:10～16:40

2月21日（水）、26日（月）、27日（火）、28日（水）、

3月5日（月）、6日（火）、7日（水）、12日（月）、13日（火）、14日（水）★会場は、談話室

4 「集団討論練習」★ 時間は全て、10:00～11:30、13:30～15:00、15:10～16:40

3月19日（月）、20日（火）★会場は、W205

5 「模擬授業」★ 時間は全て、10:00～11:30、13:30～15:00、15:10～16:40

3月26日（月）、28日（水）（10:00～11:30のみ）、4月2日（月）、3日（火）★会場は、W205

【数学コーナー】今回は、外国の教科書に見る数学用語です。

【英語】・数学：Mathematics ・算数：arithmetic ・方程式：equation ・解：solution

・関数：function ・導関数：derived function, derivative ・微分：differentiation

・積分：integration ・代数：algebra ・幾何：geometry ・解析：analysis

・行列：matrix ・円：circle ・楕円：oval ・三角形：triangle ・確率：Probability

【ドイツ語】・集合：die Menge ・直線：die Linie ・関数：die Funktion ・三角形：die Dreieck

【フランス語】・集合：ensemble ・関数：fonction ・微積分：Calcul

【中国語】・次の方程式を解け：解方程 $x^3=1$ ・因数分解せよ：分解因式 x^2-x-6



教員志望の4年生、3年生、2年生、1年生、大学院生諸君！

平成30年1月25日
教職課程センター小金井相談室

《面接試験に関する誤解》

★ 私は、これまで面接指導をしていて、学生が面接試験に対して随分と誤解しているなと感じました。この誤解は学生に限らず、管理職選考や校長選考を受験する人も同じでした。面接試験に合格するために、この誤解を解いておきましょう。もし該当した人は、考え方を切り替えてください。

《個人面接》★詳細は、別紙「教員採用選考面接極意書」を参照。

【誤解1】詳しく答えた方がいい？

最も多い誤解。個人面接は、テニスのラリー。打ち合う回数が多いほど合格する。「〇〇県志望の動機は？」などの質問がサーブで、その答えがレシーブ。レシーブは、インデックスだけ答える！つまり、「志望の動機は2つあります。1つは〇〇県の教員研修が充実していて指導力を磨ける点。もう一つは教育実習での感動体験です。」これだけ。ここでだらだらと長く語って失敗する例が多い。レシーブに対して、「教育実習での感動体験ってどういうことですか？」という関連質問でラリーが続いていくわけ。これまでに管理職試験も含めて1000人以上の復元答案（面接報告）をもらっているけど、合格した人のほとんどが30分間の面接試験で50回以上のやり取りをしているよ。

【誤解2】答えの中身だけ評価される？

「面接は、人物試験」と言われる。人物試験ってどういうこと？一言でいえば、教員としてやっていける人物かどうかということ。具体的には、①やる気②元気③根気が見られます。①やる気：教員としての資質・能力、意欲。（場面指導、教育時事、教育法規などの質問で評価されます）②元気：声の大きさ（自分の名前を言う時が今日のMAX音量。そこを大きくしておくことが必勝法です）③根気：苦しい質問に対する粘り。（質問者にしつこく食いだらされたときに、慌てず冷静に対応できるか）もちろん、入室から着席までの所作も評価されます。たいていの面接官は、最初の1～2分間で合否の見通しを立てます。そこで低い評価をされると挽回が大変。最初が肝心ですよ。

【誤解3】答えに困ったら黙って考える？

「面接では、黙ったら負け。」4秒以内に何かしら言葉を発しよう。質問の意図が分かりにくければ、「〇〇ということでしょうか？」と確認する。時間がほしいときは、「少々お時間をいただいてもよろしいでしょうか？」と許可をもらう。許可が出ても15秒以内には答えよう。

【誤解4】「具体的には？」と質問されたら長く説明する？

長く説明することは、極力避けること。「具体的には？」と質問されたら、例を挙げればよい。「例えば、二次方程式の単元の場合は、……。」例を挙げる場合でも、できる限り簡潔にまとめよう。



《集団討論》

【誤解5】集団討論のメンバーは敵？

集団討論は、5～6人で与えられたテーマについて議論する形式の面接である。メンバーの当たり外れが、合否に大きく影響する。集団討論のメンバーは、敵ではない！仲間である。議論がうまくいかなければ、全員の評価が下がる。だから、発言の少ないメンバーには、質問をして発言の機会を与えてあげる。自己中心的で議論を乱す者には、「なるほど、そういう考え方もありますが、今は〇〇の点に絞って議論しましょう！」と議論の停滞を避ける。

【誤解6】司会を引き受けた方がいい？

集団討論では、司会選出の有無はメンバーに任されている。無理して司会を引き受けなくても、議論の流れの中で進行を意識した発言をすればよい。集団討論では、①各自自分の考えをまとめる。（メモする）②意見交換（質問から始めるとよい。メモは不可欠）③議論の方向性をまとめる。（残り5分くらいで）……という流れで発言すればよい。この時、論文試験で書いた「策」（具体的な手だて）を述べると結構うまくいくよ。

《集団面接》

【誤解7】発言するのは最初がいい？

集団面接は、個人面接を数人同時に行っていると思えばよい。他の受験者の答えに惑わされないこと！「考えのまとまった方からどうぞ」と言われたら、2番手か3番手くらいに答えるのが無難。 **合格を期待しています！**